

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公表番号】特表2009-531486(P2009-531486A)

【公表日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-035

【出願番号】特願2009-501963(P2009-501963)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/14 (2006.01)

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

C 0 8 K 3/34 (2006.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

B 6 5 D 75/36 (2006.01)

B 6 5 D 77/00 (2006.01)

B 6 5 D 77/08 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 23/14

C 0 8 L 23/10

C 0 8 K 3/34

B 3 2 B 27/32 1 0 3

B 6 5 D 75/36

B 6 5 D 77/00 B

B 6 5 D 77/08 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月30日(2010.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

単層又は多層構造体から医療的、医薬的又は栄養的な用途の容器を製造するための、シール可能でレトルト処理可能な組成物の使用であって、該少なくとも一層が該組成物を含み、該組成物が二つの成分

・第一成分が、2～20質量パーセントの[アルファ]-オレフィン含量の少なくとも一つのプロピレン/[アルファ]-オレフィンコポリマー(A)を含む、

・第二成分が少なくとも一つのプロピレン/[アルファ]-オレフィンコポリマー(B)及び/又は少なくとも一つのプロピレンホモポリマー(C)を含む、

の混合物を含み、ここで、

・プロピレン/[アルファ]-オレフィンコポリマー(A)は、1J/gを超えるが65J/g未満の熔融熱を有する、30～110 の少なくとも一つの明瞭なDSC融解領域を有し、

・プロピレン/[アルファ]-オレフィンコポリマー(B)のDSC融点は、130-170 であり、

・プロピレンホモポリマー(C)のDSC融点は、130-170 であり、

・ポリマー(A)、(B)及び(C)の合計量は、組成物の少なくとも80質量パーセントであり、

・ポリマー(A)の量は、ポリマー(A)、(B)及び(C)の合計量の15～85質量パーセントである

、
前記使用。

【請求項 2】

該組成物が本質的にポリオレフィンからなる、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

該組成物が10g/10分未満のMFR(ASTM D 1238 230、2.16 kg)を有する、請求項 1 又は 2 に記載の使用。

【請求項 4】

該組成物がシーラント材料である、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 5】

該ポリマー組成物を含む少なくとも一つの溶着可能な表面層を有する可撓性で透明でレトルト処理可能な容器を提供する、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 6】

該容器が、表面層と、タイ層によって表面層に結合されるバリヤ層とを含む、請求項 5 に記載の使用。

【請求項 7】

該容器がその層の少なくとも一つにナノコンポジットを含む、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

該容器が、該組成物から作られる封着部又は溶着部を含む、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 9】

該容器が、その外面の少なくとも一部にナノコーティングを有する、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 10】

該容器が少なくとも一つの溶着したポート部材を備え、該ポート部材が該組成物を含む、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 11】

該容器が剥離可能なシールで区切られた少なくとも二つの室を備える、請求項 6 に記載の使用。